



新年を迎える喜びを感じながら

12月31日、忍城址鐘楼^{しんじょう}付近で毎年恒例のイベント「行田ゆるくる年」が行われました。

除夜の鐘を突いて新年を迎えようと、家族連れやカップルなど大勢の方が忍城址を訪れ、今回も鐘楼の前には長蛇の列ができていました。いよいよ鐘を突く順番が来ると、誰もが新年を迎えることができる喜びを感じながらうれしそうな表情を浮かべ、思い思いに鐘を鳴らしていました。

新たな門出を祝して

1月13日、産業文化会館で「平成25年行田市新成人を祝う会」が行われました。

大人として新たな門出を祝福するために開催されたこの催しに、晴れ着姿の新成人671人が参加。会場では、旧友と久しぶりに再会したり、中学時代の様子が収められたスライドが上映されたりすると、あちこちから歓声が沸き起こりました。その喜び溢れる姿から、これからの社会を担っていくために必要な、はつらつとした力がみなぎっている感じが取りました。



いつまびも生き生きと

12月19日、「みらい」文化ホールで浮城シニアクラブ連合会主催「第1回いきいき芸能発表大会」が、約380人の参加のもと開催されました。

この催しは、同連合会に所属している各クラブの活動を幅広い年代に見てもらうとともに、ふれあいの輪を広め、生きがいをもさらに高めることを目的としたもの。ステージ上でカラオケ、民謡、舞踊、ダンスなどを披露する出演者は、充実したセカンドライフを送っているようでした。

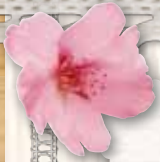
思い出に残る貴重な体験

1月12日、中央公民館で第27回少年少女将棋大会が開催され、市内の小・中学生86人が個人戦および団体戦に分かれて、熱戦を繰り広げました。

当日は特別ゲストとして、棋士の加藤一二三^{ひふみ}九段と本市出身の矢内理絵^{ひな}子女流四段が参加し、子供たちの手に汗握る対局を見守っていました。

また、矢内さんとの多面指しや加藤さんによる決勝戦の対局解説も行われるなど、参加した子供たちは思い出に残る体験をしていました。





大盛況の「ぎょうだ“夢”まつり」

12月23日、古代蓮の里で「2012ぎょうだ“夢”まつり～食と農・環境と光のページェント～」が開催されました。

この催しは、B級グルメ大会、農業祭、軽トラ市、環境フェスタを同時開催したもので、約25,000人が訪れました。また、ゼリーフライ王者を決める「ゼリーフライ選抜総選挙」や古代蓮の里イルミネーション点灯式も行われるなど、1日を通して楽しむことのできる多種多様なイベントに、来場者は大いに満足していました。



忍城おもてなし甲冑隊が白河市長を表敬訪問

1月18日、忍城おもてなし甲冑隊の成田長親、甲斐姫、柴崎和泉守が、鈴木白河市長を表敬訪問しました。

白河市の名所や旧跡をはじめ、本市との歴史的なつながりや、映画「のぼうの城」の話題などで大いに盛り上がりました。今後も、本市と白河市は相互に交流を深めていくことでしょう。



2013年の幕開け

1月1日、古代蓮会館で「2013年～タワーからご来光～『初日の出』」が行われ、展望室から初日の出を一目見ようと、早朝から大勢の方が訪れました。

雲の切れ間から太陽が顔を出すと、歓声を上げる観客たち。デジタルカメラやスマートフォンで記念撮影をしたり、新たな年の幸せを願ったりと、家族や友人らと輝かしい新年の幕開けを迎えていました。



さらなる安心・安全な行田へ

1月12日、産業文化会館、市役所前および水城公園で「平成25年行田市消防出初式」が行われました。

この催しは、安心・安全な行田を担う消防職団員の結束をさらに強くすることを目的としたもの。消防職団員の服装規律点検や一斉放水訓練をはじめ、恒例となった鳶組合によるはしご演技などを一目見ようと、多くの観客が会場を訪れました。この式が、市民の皆さんの防火防災意識をさらに高めるきっかけとなったことでしょう。



挫折を乗り越え、

初の全国の舞台で躍動

杉田文太さん (16歳・忍)

今月は、東京農業大学第三高等学校弓道部に所属し、平成24年12月に行われた第31回全国高等学校選抜弓道大会(以下全国大会)で団体3位の原動力となった杉田文太さんを紹介します。

高校から弓道を始めた杉田さん。きっかけは、同校で配布している入学案内のパンフレットでした。そこには弓道部が紹介され、弓を引く上級生の姿が載っていたそうです。杉田さんは「弓道って格好いいな。この学校で挑戦したい」という思いがわき、弓道の強豪校である同校に進学しました。

わくわくしながら弓道部に入学しましたが、すぐに矢を射せてもらえませんでした。「一本の矢を射るまでの基本動作『射法八節』を徹底的に教え込まれました。本当に射させてもらえるのかと不安に感じたこともありまして」と入部当初のことを思い出しながら語ります。矢を射ることが許されたのは、入部して2カ月後。「28メートル先にある直径36センチメートルの的に、初めはまったく的中させ



ることができませんでした」弓道の難しさを痛感し、人一倍練習に励んだ杉田さん。1年生の秋には、公式戦に出場できる団体メンバーに選出されるほどの実力がついていました。ところが、2年生の春に調子を落とし、インターハイの県予選では団体メンバーから外されてしまいました。個人戦でも結果を残すことができず、弓道を辞めようと思ったことも。それでも、これまで努力してきたことを思い出し、「ここで辞めてはだめだ」と自分に言い聞かせ、これまで以上に練習に力を入れました。

上級生が引退した後、団体メンバーの中心選手として新人戦に出場しましたが、入賞することすらできなかったそうです。折れ掛かっていた心を必死の思いで立て直し、「次の大会では、新人戦のリベンジをする」と強い気持ちで臨んだ全国大会の県予選。これまでのうつぶんを晴らすかのように何本も的中させた杉田さんは、チームの優勝に貢献し、念願の全国大会へ出場することができました。全国大会では、惜しくも準決勝で敗退。3位の結果に、「自分たちは日本一になることが目標だったので悔しかったです。インターハイでは絶対優勝します」と大きな目標に向かって、すでに気持ち切り替えています。

「弓道は、精神的な部分が大きく影響する競技です。技術だけでなく精神力も磨こうと思います」と語る杉田さん。その両方を兼ね備えたとき、インターハイ優勝という栄冠をつかみ取ることができるでしょう。

私の作品

俳句

忍 岡田 修
念入りに窓拭きて待つ鶴かな

白川戸 鈴木 都子
数へ日や人を誘って仲見世へ

荒木 島田 香子
向い風耳まで深く冬帽子

須加 須加かづ江
着ぶくれを笑い合つてる散歩道

清水町 新井 圭三
失せしもの出でて投げ出す煤猫

持田 中野 諄子
立てた尾に冬日の光る無頼猫

南河原 今村 文女
呆けまじと一日一句日記果つ

城西 八木橋近蔵
渡良瀬の昔をしのぶススキ原

荒木 蛭間しげ子
年の瀬の喪中はがきに胸騒ぎ

谷郷 吉野 六郎
年の瀬に折り紙飾り孫思う

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日まではがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

谷郷 鶴崎 信行
夕暮れの靴まで急かす虎落笛

持田 伊藤 洋子
この人と生きるしかなしもがり笛

城西 山下 利江
木枯や吹く風強く頬を刺す

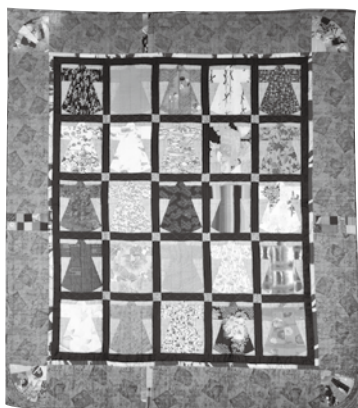
持田 小倉 繁三
ペダル踏む子等の声なし冬休み

渡柳 武笠 文子
樹々の間に光り跳びかう小春の陽

(木島 斗川 監修)

「思い出の着物」(パッチワーク)

嶋田 雪江(須加)





新井 心龍ちゃん(埼玉)
父・正俊さん 母・真紀さん
平成24年2月14日生まれ
「兄弟仲良くね♡」



角田 篤紀ちゃん(藤原町)
父・昌靖さん 母・久美子さん
平成24年2月2日生まれ
「スクスク元気に大きくなってね♡」



加部 颯大ちゃん(長野)
父・政行さん 母・愛子さん
平成24年2月8日生まれ
「笑って泣いて大きくなあれ！」



堀口 愛奈ちゃん(中央)
父・豊さん 母・安弥子さん
平成24年2月13日生まれ
「お姉ちゃん大好き♡」



池崎 望来ちゃん(佐間)
父・康裕さん 母・久美子さん
平成24年2月29日生まれ
「お兄ちゃんと仲良くね！」

平成24年4月生まれの
お子さんを募集します

○2月1日(金)~28日(休)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、3月4日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



さわやか サークル

須加公民館パッチワーククラブ ~大切な思い出を継ぎ合わせて~



生地の切れ端を継ぎ合わせて、彩り豊かな一枚の布を作り出すパッチワーク。今月紹介する須加公民館パッチワーククラブの皆さんは、一針一針心を込めて手縫いした

作品の前に、にこやかにパッチワークの魅力を語ってくれました。
須加公民館の講座をきっかけに発足した同クラブは、今年で結成23年目を迎えます。現在は9人のメンバーが在籍し、毎月第2・4金曜日の午前9時30分から11時30分まで、窓の外に広がる田園風景を眺めながらのんびりと活動しています。
やさしい色合いのかばんやポーチ、タペストリーなど、同クラブの皆さんが作るものはさまざま。講師の嶋田雪江さんが色や素材にこだわって選んだ生地や、メンバー自身で選んだ生地を使い、各自のペースで世界に一つだけの作品を作っています。また、おしゃべりも楽しみの一つで、夢中になって針を進める傍ら、料理や孫の話に花を咲かせるなど、気心の知れた仲間との話題は尽きません。
パッチワークは、自分が若いころに着た着物や、母親の着物の残り布など、思い出の詰まった布を再利用することができることも魅力です。「捨てられず、たんすにしまい込んでしまうような布でも、別の作品

に生まれ変わることで、いつもそばに置いて使うことができます」とメンバーの皆さんはうれしそうに語ります。
作品は、自分で使うことはもちろん、子どもや孫、友人にプレゼントするというメンバーの皆さん。贈る相手の喜ぶ顔を思い浮かべながら作ることで、作品への思い入れがより一層深まるそうです。
小さな生地の切れ端からは想像もつかない、立派な作品が出来上がるパッチワーク。「一見難しそうですが、一針縫えれば、あとはひたすらそれを繰り返すだけなので、手芸に苦手意識を持っていても大丈夫。あきらめず、こつこつ続けることが大事です」と語る皆さんは、今日も大好きなパッチワークに囲まれて、充実した日々を過ごしていることでしょう。

▼問い合わせ 橘 ☎556-6047



イベント

戦国武将隊イベント

▼日時 3月10日(日)午前10時30分〜午後0時30分 ▼場所 産業文化会館ホール ▼内容 忍城おもてなし甲冑隊をはじめ、全国各地で活躍する戦国武将隊による演舞など ▼入場無料 ▼その他 演舞終了後、忍城址で武将隊によるおもてなしを行う ▼園 観光プロジェクト推進室(内線379)

国際交流フェスタ
〜行田から世界へ、
世界から行田へ〜

市内在住の外国人の方と、国際交流を楽しんでみませんか。
▼日時 2月22日(金)午後6時〜8時30分 ▼場所 VIVA ぎょうだ調理室・学習室 ▼内容 ①世界の料理を食べながら市内在住の外国人との交流②世界を舞台に活動している本市出身の青年海外協力隊員による講演 ▼対象 市内在住・在学・在勤の方 ▼定員 30人(先着順) ▼参加費 100円 ▼申込 住所、氏名、電話番号

号を明記の上、FAX・Eメールで地域づくり支援課【FAX】556-3083【Eメール】chikizukuri@city.gyoda.jp ※電話での申し込みも可 ▼園 同課(内線253)

ふれあい人形劇

▼日時 3月9日(土)午後1時30分〜3時30分 ▼場所 児童センター遊戯室 ▼内容 立正大生による人形劇 ▼定員 50人(先着順) ▼対象 幼児〜大人 ▼参加無料 ▼申込 園 直接または電話で同センター ☎554-5706

彩北トラバル

▼期日 2月16日(土)・17日(日) ▼場所 市内および熊谷市内 ▼内容 日中は市内を観光して街を巡り、夜は熊谷市で街パル(飲み歩き)をする ▼参加費 4千円 ▼主催 彩北トラバル実行委員会 ▼その他 詳細はホームページ(<http://saitama-akibaibar.jp>)またはフェイスブック(<http://www.facebook.com/gyoudabar>)

をご覧ください。 ▼申込 園 (株)JTB関東法人営業埼玉支店 担当小野坂 ☎048-644-5313

福島第一原子力発電所事故
から、まもなく2年「核」
のない世界をめざして

▼日時 2月24日(日)【1回目】午後2時〜4時10分【2回目】午後6時〜8時10分 ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 映画「核のない21世紀を」「チエルノブイリ・ハート」の2作品を上映する ▼定員 500人(先着順) ▼入場無料 ※入場整理券が必要 ▼入場整理券配布 北埼玉教育会館に電話で請求 ▼主催 行田映画の会 ▼後援 行田市、行田市教育委員会 ▼園 同会館 ☎553-0744

ファミリー・サポート・
センターひなまつり交流会

▼日時 3月3日(日)午前10時〜正午 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第1研修室 ▼内容 ひなまつりクッキー作り、絵本の読み聞かせなど ▼対象 子育て中の方および子育て支援に興味のある方 ▼定員

50人(先着順) ▼参加費 大人100円、子ども50円(材料代) ▼申込 園 2月6日(水)から直接または電話で行田市ファミリー・サポート・センター ☎550-7620

中央小学校吹奏楽部
演奏会

▼日時 3月9日(土)午後1時30分開演 ▼場所 産業文化会館ホール ▼曲目 「シング・シング・シング」「ギンガムチェック」ほか ▼入場無料 ▼主催 中央小学校 ▼後援 行田市教育委員会、吹奏楽部保護者会 ▼その他 忍中学校の生徒や同吹奏楽部OBも出演 ▼園 同校 ☎554-5551

行田ゼリーフライの大使
潮崎ひろの♪震災復興
チャリティーライブ

▼日時 2月24日(日)午前11時〜正午、午後2時45分〜3時45分(2回公演) ※雨天中止 ▼場所 忍城址 ▼出演 潮崎ひろのさん(市内在住の歌手) ▼観覧無料 ▼主催 (株)ポップ企画 ▼園 同企画 ☎554-0789

広告

第19回こども

フェスティバル

▼日時 2月17日(日)午前10時開演
▼場所 持田公民館
▼内容 劇「タイムマシンの旅」、ふしぎと笑いの手品、絵本と紙芝居の読み聞かせ、人形劇「こびとの笛」「かさじぞう」
▼対象 幼児〜大人
▼参加無料
▼主催 こどもフェスティバル実行委員会
▼後援 行田市教育委員会
▼問い合わせ 行田おやこ劇場事務局 ☎090-3816-5374

和紙絵作品展

▼日時 3月2日(土)〜4日(月)午前9時〜午後4時30分(4日は午後3時まで)
▼場所 コミュニティセンターみずしろ
▼内容 各公民館の和紙絵講座の受講生による作品展
▼入場無料
▼問い合わせ 長谷川 ☎557-0073

講演・講習会

第35回事業所人権教育研修会

▼日時 2月20日(水)午後2時

〜3時15分 ▼場所 VIVA

ぎょうだ学習室 ▼内容 千葉聖浩さん(さいたま地方法務局熊谷支局総務課長)による講演「あなたの職場は大丈夫? (職場内でのセクハラ・パワハラ)」
▼対象 市内の事業主および人事担当の方 ▼定員 60人
▼参加無料 ▼問い合わせ 人権推進課 (内線221)

見守る・見つける・支え多地域を旨として障害者の権利擁護・虐待防止・成年後見セミナー

▼日時 2月21日(水)午後1時30分〜3時30分 ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 ①柴由之さん(成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部長、司法書士)による講演「障がい者の権利擁護と成年後見制度」
②日常生活自立支援事業(あんしんサポートネット)について
③障害者虐待防止と地域ネットワークについて ▼参加無料
▼問い合わせ 福祉課 (内線265)

ひきこもり講演会

▼日時 3月6日(水)午前10時〜11時30分 ▼場所 市民プラザ

かぞ301会議室A・B・C(加須市中央2-4-17) ▼内容 高橋良臣さん(登校拒否文化医学研究所所長、臨床心理士)による講演「ひきこもる青年の心理と家族の対応」
▼対象 おおむね18歳以上で、精神疾患や発達障害がないひきこもり状態の方の家族、ひきこもりに関心のある方および関係者 ▼定員 70人
▼参加無料 ▼問い合わせ 2月28日(木)までに電話で加須保健所 ☎0480-61-1216

行田環境市民フォーラム 第13回公開学習会

▼日時 2月24日(日)午後1時30分〜3時30分 ▼場所 中央公民館第2学習室(「みらい」内)
▼内容 ①黄綿正人さん(省エネルギー普及指導員)による講演「家庭でできる省エネ、節電の「スゴ技」」
②國井範彰さん(行田環境市民フォーラム副代表)による講演「うちエコ診断のご紹介」
▼対象 市内在住・在学・在勤の方 ▼定員 50人(先着順)
▼参加無料 ▼主催 行田環境市民フォーラム

△ ▼問い合わせ 中村 ☎090-1778-4062

改正法を斬る―経営に役立つ改正法の使い方―

▼日時 2月13日(水)午後2時〜4時 ▼場所 商工センター403研修室 ▼内容 労働契約法、高齢者雇用安定法などの改正点
▼定員 40人 ▼参加無料 ▼問い合わせ 行田商工会議所 ☎556-4111

募 集

鉄剣マラソン大会のボランティア

行田市鉄剣マラソン大会実行委員会では、大会運営を手伝っていただけるボランティアを募集します。
▼活動日時 4月7日(日)午前6時30分〜正午ごろ ▼活動場所 古代蓮の里 ▼内容 参加者受け付けや選手誘導など ▼対象 15歳以上の方 ▼その他 3月下旬に事前説明会を実施
▼問い合わせ 3月1日(金)までに同大会実行委員会事務局(スポーツ振興課内) ☎556-8336

広告

**行田市・白河市・桑名市友好
都市15周年記念「絆」リレー
マラソンランナー**

▼日程 ①5月3日(金)忍城址東門〜小田原市 ②5月4日(土)小田原市〜富士市 ③5月5日(日)富士市〜名古屋 ④5月6日(月)名古屋市〜桑名城址九華公園 ※日程は目安 ▼内容 友好都市のきずなが一層深まることを願い、本市と桑名市間(約460km※1区間は5km〜15km程度)をジョギングのリレーでつなぎ、友好のたすきとメッセージを伝える ▼参加費 宿泊代ほか※途中参加の場合は交通費など ▼後援 行田市体育協会ほか ▼その他 都合のよい日のみの参加可。担当する区間への移動は送迎バスを利用 ▼申込み 3月20日(水)までにEメールまたは電話で実行委員会事務局【Eメール】gyoudaric@gol.com 村上 ☎5553-2483 または佐藤 ☎5555-3525

防衛省自衛官

幹部候補生

▼受付 2月1日(金)〜4月26日(金) ▼対象 日本国籍を有し次のいずれかに該当する方①22歳

以上26歳未満で大学を卒業した方②22歳未満で大学を卒業見込みの方③28歳未満で大学院で学位を受けた方(取得見込みを含む) ▼試験 5月11日(土)12日(日)※12日は筆記式操縦適性検査(パイロット希望者のみ) ▼予備自衛官補

講座・教室

農業カルチャー講座

▼日時 3月16日(土)午前10時〜正午 ▼場所 県立羽生実業高等学校 ▼講座名 コサージュづくり ▼対象 一般 ▼定員 15人(申し込み多数の場合は抽選) ▼受講料 300円 ▼申込み 往復はがきに住所、

氏名、電話番号、講座名を記入し、3月1日(金)までに県立羽生実業高等学校農業カルチャー講座係(〒348-8502 羽生市羽生323) ▼申込み 同校 ☎561-0341

ものづくり大学

「ものづくり市民工房」

▼初級コース(1年制) ▼内容 木造建築にかかわる設計、制作、修復などを基礎から学ぶ ▼定員 5人

日曜大工コース(1年制)

▼内容 趣味と実益のために木工の基礎技能を習得する ▼定員 15人

▼その他 受講料・詳細についてはものづくり大学に問い合わせください。 ▼申込み 2月28日(木)までに同大学建設学科事務 ☎564-3849 (月〜金曜日、午前9時〜午後5時)

少林寺拳法教室

▼日時 2月23日〜3月23日の毎週土曜日(全5回) 午後7時〜8時15分 ▼場所 「グリーンアリーナ」柔道場 ▼対象 小学生以上 ▼費用 【中学生

以下】1千500円【高校生以上】2千500円(保険料などを含む) ▼服装 トレーニングウェアなど運動のしやすい服装 ▼持ち物 タオル ▼主催 行田市少林寺拳法連盟 ▼申込み 2月9日(土)・16日(土)午後6時〜7時に費用を添えてグリーンアリーナロビー ▼申込み 同連盟 島田 ☎588-4694 または ☎090-4665-0901

**県立羽生高等学校
平成25年度特別講座受講生**

▼日時 5月上旬〜9月下旬の原則毎週火曜日午後3時〜4時30分(祝日および夏季休業中は休講) ▼場所 県立羽生高等学校 ▼内容 【Word入門】ローマ字入力で基本的な操作を学習し、文書や書類作成を行う ▼受講料 1千750円(テキスト代、教材費が別途必要) ▼申込み 同校事務室で3月1日(金)から配布する「特別講座受講案内」を参照の上、所定の応募はがきに必要事項を記入し、3月15日(金)(当日消印有効)までに同校(〒348-0031 羽生市加羽ヶ崎303-1) ▼申込み 同校 ☎561-0718

広告

行田市ジュニア・マス ターズ水泳大会

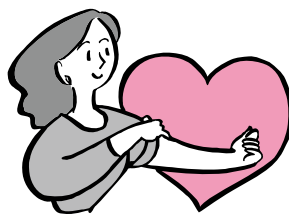
▼日時 3月3日(日)【午前】ジュニア水泳大会【午後】マスタートズ水泳大会 ▼場所 市民プール ▼種目 自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、個人メドレー、リレー、メドレリー※1人1種目まで(個人メドレー、リレー、メドレリーを除く) ▼対象 市内在住・在勤・在学の方 ▼参加費 200円(保険料含む) ▼主催 行田市水泳連盟 ▼後援 行田市、行田市教育委員会 ▼申込 申込用紙に必要事項を記入の上、2月9日(土)午後6時〜7時に参加費を添えて、市民プール2階会議室に持参 ▼問い合わせ 同連盟事務局 関根 ☎554-1677

その他

献血

▼日時 3月14日(木)午前10時〜午後4時(正午〜午後1時を除く) ▼場所 忍・行田公民館

館 ▼内容 全血献血 ▼持ち物 献血カード(お持ちの方) ▼主催 行田ライオンズクラブ ▼問い合わせ 埼玉県赤十字血液センター ☎525-1371



(財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

申し込み・問い合わせ



産業文化会館
TEL 556-6371
FAX 556-6372



古代蓮会館
TEL 559-0770
FAX 559-0784



商工センター
TEL 553-0510
FAX 553-2021



グリーンアリーナ
TEL 553-3377
FAX 553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

古代蓮の里売店出店 登録業者募集

古代蓮の里売店では、弁当のほか食品、蓮に関連する雑貨などの商品の販売を希望する業者を募集します。

▼応募資格 次の①〜④をすべて満たしている業者 ①市内に事業所を置いていること ②来園者の利便に供するものを販売できること ③一年を通じ継続的に商品を出品できること ④法人税または市県民税を完納していること ▼応募締切 2月28日(木)午後4時まで



産業文化会館臨時休館のお知らせ

2月16日(土)と3月2日(土)は、全施設定期点検のため臨時休館となります。

商工センター臨時休館のお知らせ

2月16日(土)・17日(日)は、全施設定期点検のため臨時休館となります。

市民プール アルバイト・パートスタッフ

職種	勤務時間	募集人数・対象	時給	申し込み・問い合わせ
市民プール 監視・施設管理 スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> 月〜金曜日(祝日を除く)の午前9時30分〜午後6時30分 ※午前9時30分〜午後1時のみ、午後1時〜6時30分のみ可 午後6時30分〜9時30分 ※時間応相談 ※週3日程度のローテーション勤務 	若干名 ※高校生以上の方(満15歳になって最初の3月31日を迎えている方) ※泳げる方(25m程度) ※監視員経験者歓迎 ※試用期間(2カ月間)あり	【高校生】 780円 【一般・学生】 800円 ※試用期間は780円	2月20日(水)までに、履歴書(写真貼付)を市民プール窓口へ提出してください。 ※選考方法は書類審査および面接試験 ※2月下旬に面接予定 市民プール(本丸3-5) ☎555-2455

広告

江戸時代の忍城を歩く3 南から城内へ

江戸時代、江戸（東京）から忍城への道は、中仙道を通り、鴻巣から日光館林道に入るルートでした。同街道は、堤根の堀切橋を渡って行田市域に入り、石田堤沿いに北上する幹線道路で、江戸時代には石田堤の上にマツが植えられ、街道沿いに松並木が形成されていました。残念ながら江戸時代のマツは残っていませんが、補植されたマツが当時の面影を残しており、「石田堤の並木」として市の指定天然記念物になっています。

同街道は、堤根から樋上、下忍を抜けて佐間に通じていて、下忍と佐間の村境には、道の両側に一里塚が築かれています。一里塚は、塚の上にマツやエノキを植えて距離を示す「里程標」の役割があります。夏は木陰で休息を取り、冬は寒風を避けることができます、道中の休息所としての役割も果たしていました。現在は、東側の塚だけがTACO株式会社の工場内に保存されており、県の指定史跡「一里塚」として公開されています。

同街道はさらに北上し、江戸時代に茶屋があったと伝えられるいげた製菓の前を通り、妙音寺の北東側を回って、佐間の立場に続いていました。いげた製菓の前からは、騎西に至る道が分岐していて、そこに建てられていた道標が、現在、郷土博物館に展示されています。

佐間の立場は、現在のそば処新井屋の前にあり、同街道の休憩所となっていました。参勤交代などで江戸から忍城に帰る城主の行列は、この立場で隊列を整え城下に向かったと伝えられています。また、立場から小道を西に入った所に、市の浮き城のまち景観賞を受賞した「割役庄屋表門」があります。この元佐間村の庄屋宅には、忍城主が休憩を取ったと伝えられる「上段之間」が残されています。

同街道は、立場からは現在の県道行田蓮田線と同じルートをたどり、蛇行して佐間天神社の神門前を抜け、天満稲荷神社の所にあった八軒口から城下へと通じていました。城主の行列は、そこから大手門、沼橋門を通って城内に入っていたものと思われます。



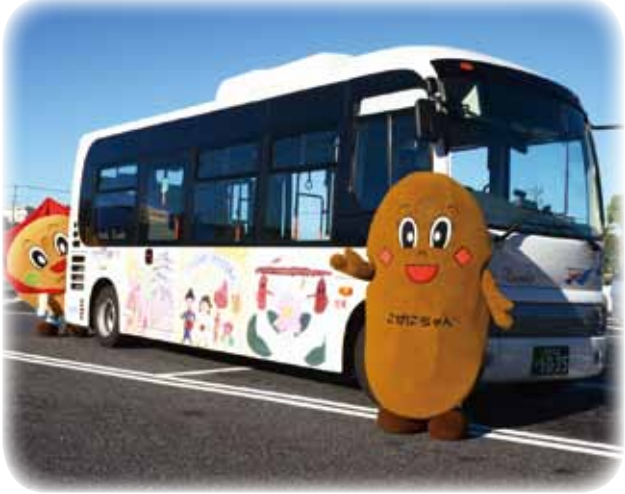
一里塚

（文化財保護課 中島 洋一）

こぜにが with フラベス ちゃん行く!

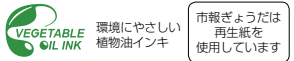
しない じゅん かん 市内循環バス

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。



市報変更のお知らせ
より見やすく読みやすい市報を目指し、今月号から文字を大きくするとともに、ユニバーサルデザインを考慮した書体に変更しました。今後とも、市民の皆さんに親しまれる広報紙を作成していきます。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市内の公共施設や観光スポットを6コースに分け、市内をくまなく運行している市内循環バス。通勤・通学の手段としての利用も増え、平成24年4月から12月まで、延べ14万人を超える人が利用したというから大活躍だね。

映画「のぼうの城」の公開に合わせ、観光客をおもてなしする気持ちを込めて、小・中学生のみんなに「故郷ぎょうだ」をイメージした絵を描いてもらい、観光拠点循環コースのバスにラッピングしたよ。とても愛らしいバスになっているから、ぜひ乗ってみてね。市内循環バスに乗って行田を「ぐるっと」巡れば、新しい行田を発見できるかも。

今月の表紙
1月13日、産業文化会館で「平成25年行田市新成人を祝う会」が行われました。華やかな着物姿やスーツ姿の新成人が参加し、クラスメートとの久しぶりの再会や二十歳の門出を喜んでいました。(関連記事16ページ)